

孫子老

第 48 号

平成26年 8月 1日 発行

社会福祉法人よこた福祉会

島根県仁多郡奥出雲町稲原57-1

TEL (0854) 52-2567(代)

FAX (0854) 52-2568(代)

E-mail : yokohu-1@jeans.ocn.ne.jp

http://yokota.or.jp

介護老人福祉施設むらくも苑
短期入所生活介護事業所
デイサービスセンターほのぼの
デイサービスセンターにここに

ヘルパーステーションたんぽぽ
訪問看護ステーションまごころ
居宅介護支援事業所

就任あいさつ

特別養護老人ホームむらくも苑 施設長 梅木浩美

平成二十六年四月一日付をもって、特別養護老人ホームむらくも苑並びに各居宅サービス事業所の施設長に就任いたしました。

社会福祉法人よこた福祉会の事業が開設となった昭和六十二年四月に採用されてから、二十八回目の春。このような責務を担わせて頂くことになり、非才の身には甚だ重く感じられる大任ではございますが、役員の方々と共に、奥出雲町の地域福祉に全力を傾注し、期待に添うべく努力してまいります。どうか前任同様、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

よこた福祉会にとりまして『事業再編の年』とも呼べる期に、めぐり合わせたこの役割には、私自身が大きな意味を感じずにはいられません。社会福祉事業は、これまで制度の創設や改革を繰り返して、また社会の情勢や日常生活における価値観等、今もなお想像以上の速度で変化し続けております。しかしながら、福祉事業の顧客は地域の皆様方であり、その担い手もまた地域の



民であります。どんな変化を迎えても、誰のためにも何をすべきかを追及していくことに変わりはありません。

家、家にあらず、次ぐをもて家とす
人、人にあらず、知るをもて人とす

世阿弥

真に継承していくべきなのは、形ではなくその中身であることを心に念じ、誠心誠意最善を尽くしてまいります。

どうか一層のご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさつといたします。

「よこた福祉会事業所」

研究発表大会

について

よこた福祉会職員の取り組みの一つ、法人内事業所研究発表大会を紹介します。

この取り組みの目的は、職員個々の自己研鑽は基より、事業所や部署内のチームワーク力強化、他事業所との連携、ひいては利用者サービスの資質向上へと繋げて行く為に、平成二十年度より毎年実施しています。

六回目を迎えました昨年度末の研究発表では、デイサービスほのぼの、むらくも苑（看護・厨房・事務所）、居宅介護支援事業所から各事業所の発表がありました。

要支援の方への介護予防を始め、経営栄養のケア、衛生管理、接遇、認知症ケアなど、日ごろの取り組みの成果に、参加した職員が熱心にメモを取りながら聞いていました。



今回の研究発表大会では、初めて法人外部の方に聴講して頂き、又研究発表の様子を情報テレビで紹介して頂く等、地域の方々に法人職員の取り組みを知って頂く機会を得ることが出来ました。

また、永生クリニック藤原先生、山根先生より講評を頂き、今後ともケアの質の向上を目指して職員一同取り組んでいきたいと思っております。

徒然草

終戦の混乱未だおさまらない昭和二十四年の春に小学校入学した子供は、今年六回目の午年を迎えた。その記念にと大社参拝を兼ねた同窓会を企画したところ、友達からボラレティアガイドを紹介され、早速お願いしてみた。

何しろ、子供の頃から境内を遊び場にしていただけあって、このガイドさんは誠に詳しい。勢溜（せいだまり）の二の鳥居から被橋（おはらいばし）、松の参道から左の勅使館の説明、四の鳥居である銅の鳥居前での記念撮影、そして遷宮の終わった本殿を一周と、今までそれなりに承知してお参りしていたが、この説明に改めて感銘を深くした。

ところで、自治会内で大山さんとか、山の神さんとか代宮家さんを迎えないで、氏子だけでお祭りをする時には、臨時神主である私の出番である。

神様は、「今年もお前が神主か」と苦笑しておられるだろうし、氏子からも「お前さんの祝詞で御蔭があるかね」と問われるが、「御祈念料がないからわからん」と言っている。

まず、身褌被詞（みそぎはらへのことば）から幸魂奇魂守給幸給（さきみたましくしみたまもりたまひさきはえたまえ）を唱え、そして氏子中の安寧と健康をお願いしているが、ガイドさんによるとこの幸魂奇魂守給幸給には、全てにお守りがあるとの事で、これからも臨時神主を頼まれれば、自信を持って努めねばと思っている。

まあまあ元気で六回目の午年を迎えられた事に感謝し、これ位の元気で次の午年も迎えたいものだと思っている。

むらくも苑に新たなボランティアの皆様が 来苑して下さいましたので、一部ご紹介します

まず、5月より稲田一郎様に月1回第3金曜日に習字ボランティアに来苑して頂くこととなりました。以前習字をしておられた利用者様も久しぶりに筆を握り、真剣な眼差しで半紙に向かっておられました。

また、6月7日には毎年恒例となったホシザキ電機労働組合の皆様による窓拭き・車椅子清掃ボランティアをお世話になりました。「去年も来てごされたが～」と利用者様にも恒例のボランティアとなっています。施設の窓、車椅子一台一台を隅々まで綺麗にして頂きありがとうございました。

そして、6月11日にはサキソフォンの演奏ボランティアに光成様に来苑して頂きました。珍しい楽器の音色と懐かしい音楽に、利用者の皆様も自然と笑顔になり、歌を口ずさんだり、時には涙を浮かべたりととても楽しい時間を過ごすことが出来ました。ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

今後も利用者様、職員一同ボランティアの皆様との心温まる交流を楽しみにしております。多数のボランティアの皆様のお来苑をお待ちしております。



横田高校企業ガイダンス2014へ 講師派遣いたしました

7月2日、島根県立横田高校企業ガイダンス2014の一つとして、当福祉会より介護職員を派遣し、介護現場で働くことなどについてグループワークがありました。

このあと実際に施設を見学に来所され、福祉のお仕事についてさらに理解を深めていただきました。

参加した生徒様から「がんばって介護福祉士になりたい」「介護は大変な仕事だけどやりがいのある仕事だとわかってよかった」などの感想をいただきました。

卒業生の中から、近い将来福祉の世界へ入り、よこた福祉会と一緒に働く仲間が出来たら素敵だなと思いました。



孫子老サポート隊の 活動をご紹介します



元気で暮らしやすく、活気あふれる奥出雲の町づくりのため、八月には三沢地区・三月には亀嵩地区へ出かけさせて頂きました。楽しく身体を動かし、要介護状態にならないよう、また要介護になっても地域で生活できるように、実際に軽運動をしたり、わかりやすく寸劇にしてお伝えしました。六月には奥出雲町老人クラブ連合会総会で「食」に関する話をしました。暑くなるこれから季節に必要な水分摂取の方法や、気になる塩分・糖分について、実際に一日に摂るべき目安の量を手にとり重さを体感してもらいました。メモを取ったり質問されたりしながら、熱心に話を聞いて頂きました。

これからも、奥出雲町内ならどこでも出張いたします。どうぞ、「孫子老サポート隊」をご活用ください。

貸借対照表
平成26年3月31日現在

社会福祉法人よこた福祉会

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	257,196	流動負債	92,226
固定資産	762,268	固定負債	23,820
基本財産	590,669	負債の部合計	116,046
その他の固定資産	171,599	純資産の部	
		基本金	441,051
		国庫補助金等特別積立金	280,401
		その他の積立金	103,100
		次期繰越活動収支差額	78,866
		純資産の部合計	903,418
資産の部合計	1,019,464	負債及び純資産の部合計	1,019,464

平成25年度決算報告

資金収支計算書

事業活動計算書

(自)平成25年4月1日 (至)平成26年3月31日 (単位:千円)

(自)平成25年4月1日 (至)平成26年3月31日 (単位:千円)

勘定科目		決算額	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	445,484
		障害福祉サービス等事業収入	19,538
		医療事業収入	2,693
		借入金利息補助金収入	529
		経常経費寄附金収入	1,394
		受取利息配当金収入	163
		その他の収入	2,364
	事業活動収入計(1)	472,165	
	支出	人件費支出	398,345
		事業費支出	76,262
事務費支出		26,520	
利用者負担軽減額		268	
支払利息支出		530	
その他の支出		1,887	
事業活動支出計(2)	503,812		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 31,647		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	4,611
		設備資金借入金収入	18,550
		固定資産売却収入	0
	施設整備等収入計(4)	23,161	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	22,510
		固定資産取得支出	21,234
その他の施設整備等による支出		0	
施設整備等支出計(5)	43,744		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 20,583		
その他の活動による収支	収入	長期運営資金借入金収入	0
		積立資産取崩収入	63,400
		その他の活動による収入	0
	その他の活動収入計(7)	63,400	
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	0
		積立資産支出	21,200
その他の活動による支出		0	
その他の活動支出計(8)	21,200		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	42,200		
予備費支出(10)			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 10,030		
前期末支払資金残高(12)	187,853		
当期末支払資金残高(11)+(12)	177,823		

勘定科目		決算額	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	445,484
		障害福祉サービス等事業収益	19,538
		医療事業収益	2,693
		経常経費寄附金収益	1,394
		サービス活動収益計(1)	469,109
	費用	人件費	396,914
		事業費	76,262
		事務費	26,520
		利用者負担軽減額	268
		減価償却費	28,573
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 17,564		
国庫補助金等特別積立金積立額	3,960		
徴収不能引当金繰入	158		
サービス活動費用計(2)	515,091		
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	△ 45,982		
サービス活動外の増減の部	収益	借入金利息補助金収益	529
		受取利息配当金収益	163
		その他のサービス活動外収益	2,364
	サービス活動外収入計(4)	3,056	
	費用	支払利息	530
その他のサービス活動外費用	1,887		
サービス活動外支出計(5)	2,417		
サービス活動外収支差額(6)=(4)-(5)	639		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 45,343		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	4,611
		施設整備等寄附金収益	0
		固定資産売却益	0
		その他の特別収益	4,026
	特別収益計(8)	8,637	
	費用	固定資産売却損・処分損	0
		国庫補助金等特別積立金積立額(除却等)	△ 150,099
		国庫補助金等特別積立金積立額	150,099
		その他の特別損失	0
		特別費用計(9)	0
特別増減差額(10)=(8)-(9)		8,637	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 36,706		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	73,373	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	36,666	
	基本金取崩額(14)	0	
	その他の積立金取崩額(15)	63,400	
	その他の積立金積立額(16)	21,200	
	次期繰越活動収支差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	78,866	

編集後記
 いまや夏に限らず一年中を通して気をつけたいのが水分補給です。というところで、泡の出る一杯を明日の活力のためにと補給していましたが、なんと！ビールは利尿作用があり体から水分を追い出してしまいうやうです。こまめな水分摂取で長い夏を乗り切りたいものです。



去る2月吉日、奥出雲町より居宅サービス支援事業の一環として助成をして頂き、2台目の訪問車両を整備することが出来ました。奥出雲町をはじめご協力頂きました、関係者の皆様に謹んでお礼申し上げます。整備しました車両を有効活用させて頂き、より良いサービス提供に努めて参りたいと思います。

訪問車両紹介

